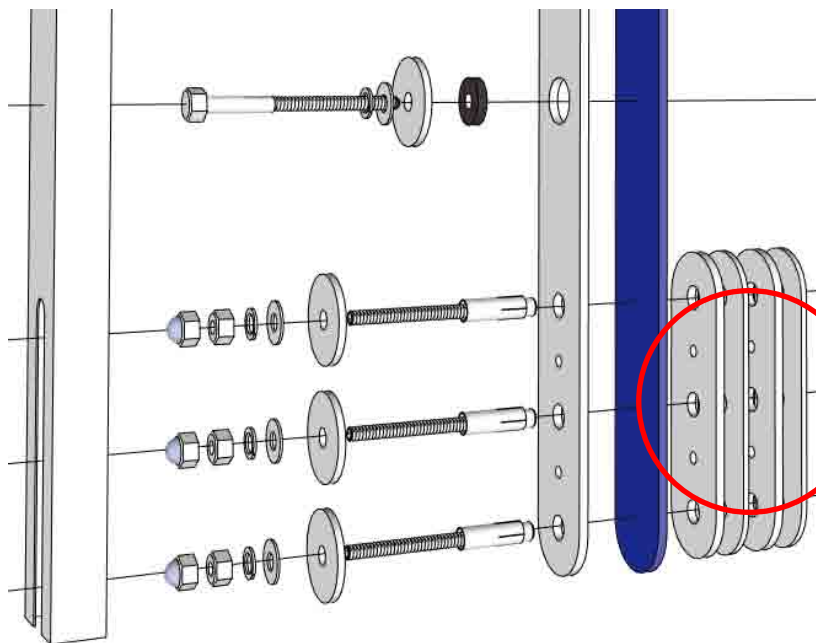


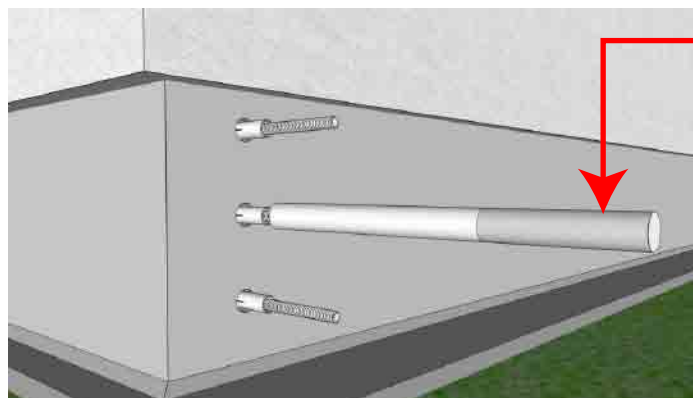
# 施工前にご確認ください。

## ■付属部材と必要工具について。



調整板は壁厚 20mm 分のみ付属です。  
不足の場合は別途ご購入下さい。

※カバーフルセット品の場合。



※このセット「AXX700」を施工する際に基礎アンカー固定に「ハンドホルダー 10M 用」が必要になります。

## ■アンカーボルトの仕上げについて。

### ■AXX700 本体をフルカバーする場合の追加加工

金物全体を全てステンレスカバーで隠す仕上の場合、AXX700 をボルトアンカーで締付後、締付ナットから先、頭出しているボルト軸先端部分をサンダーでカットして下さい。

(※施工説明書を参考にして下さい。)※袋ナットは使用しません。

▶ 取付前の補強箇所

▶ 基礎ボルト 頭出部カット

▶ フラット加工後

▶ フルカバー仕様完成



※カット口を袋ナットで仕上げる場合はネジ部を残して下さい。

※ステンレス・カバーを全面隠して使用する場合は、ナット締付寸法のみを残してカット。

# 施工前にご確認ください。

AXX700 基礎アンカー打込方法は「二通り」あります。

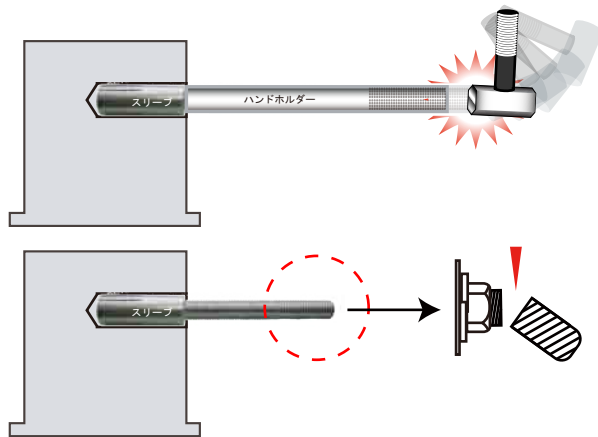
## 1. アンカーボルト指定打込み深さ固定。

40mm の下穴深さで施工する方法。

※この施工方法の場合、ボルト軸が基礎面から 0mm ~ 80mm 頭出し、生活する人への障害となることから、取付に必要な分のボルト軸を残し、サンダーでカットして仕上げる事になります。

※カット口を袋ナットで仕上げる場合はネジ部を残してください。

※ステンレス・カバーを全面隠しで使用する場合は、ナット締付寸法のみを残してカット。



## 2. シナプス指定「ボルト軸基礎埋め込調整」固定。

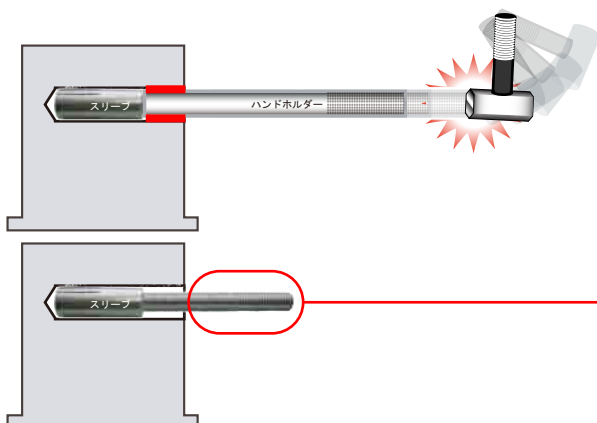
※この方法の場合、頭出するボルト軸分の長さを、基礎内部に深く差込むことでボルト出を調整する方法です。

※差し込み深さの決め方は、壁がどれだけ出ているかを計測し、その計測数値と、基準数値 [80mm] から差引いた残りの数値がアンカー下穴深さになります。

(例. 基礎面から壁の出が 30mm - 計算基準数値 80mm = 下穴深さ 50mm)

となります。基礎面からボルト軸 70mm を残し基礎内部に打込みます。

※こちらの方法でアンカーを打込む場合は、別紙「スムーズなアンカー施工の為に」を参考に作業願います。



### ◎70mm の各部材使用寸法。

壁厚用スペーサー 30mm

AXX700 板厚 6mm

EVA 約 1mm

制震格納 W 4mm

S.W 3mm

W 1.5mm

ナット 8mm

袋ナット 8mm

合計 61.5mm

ナットと袋ナット間の隙間 8.5 ~ 9mm



◎本体+カバー フルセット部材

◎セット 3 品種

- AXX-700SUS304 (ステンレス本体)
- AXX-700SS30B (スチール/カチオン黒)
- AXX-700SS30U (スチール/ユニクロ鍍金)

◎本体セット部材

柱を確実に捕えるサイズ 125mm  
※詳細は「施工書」をご覧ください。

せん断回避と衝撃力吸収緩和男性部材

制震構造と強固な固定力を発揮する 55mm ワッシャー

← 防水用 5 倍発泡 EVA シート

調整板が必要な場合は、別途ご購入下さい。

シンプルなフラットバーで壁内に収まる →

Option  
現場で二つのカバーデザインが選択できる仕様  
※基礎ボルト露出が全部カバー

基礎 (FC) を考慮したボルト仕様



20mm 分の隙間調整板付属

※このセットを施工する際に [ハンドホルダー 10M 用] が必要になります。





MADE IN JAPAN



AXK-700  
後付柱金物 アクサ 54.5MM



Impulse force relief system structure. PAT:4285703  
Waterproofing and allophone prevention EVA

